

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		電線類地中化モデル実施					所管	都市づくり部 土木課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	81	計画事業名	無電柱化の推進			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進									
		[小 柱] (2) 快適で利用しやすいまちづくり									
		[施策] ① 快適な都市空間と良好な都市景観の創出									
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	道路法、電線共同溝の整備等に関する特別措置法							
	事業対象	一般区民、道路利用者									
	事業目的	電線類を地中化することにより、良好な都市景観の創出、安全で快適な歩行空間の確保、都市防災機能の強化を図る。									
	事業内容	<p>モデル事業路線を対象として、電線共同溝の整備を行っている。</p> <p>[平成27年度] 本体工事 300m(かつば橋本通り) 引込管・連系管工事(かつば橋本通り/馬道通り)</p> <p>[平成28年度] 本体工事 300m(かつば橋本通り) 引込管・連系管工事(かつば橋本通り)</p>									
委託の有無	全部委託	委託内容		電線共同溝本体工事、電線共同溝引込・連系管設計工事							
補助金の有無	国・都										
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度				
	活動指標	電線共同溝本体工事延長	(m)	-	500	500	300				
		成果指標	モデル事業路線の無電柱化延長 (電柱を撤去した延長)	(m)	-	-	150	500			
	決算額 (単位:千円)					417,288	272,427	306,778			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				17,043	17,003	14,837			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				77,130	89,218	256,369			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				340,158	183,209	50,409			
		総経費				434,331	289,430	321,615			
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0			
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				175,014	104,210	139,174			
一般財源(区負担額)				259,317	185,220	182,441					
前回評価から改善した事項	なし										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	電線類の地中化は、良好な都市景観の創出、安全で快適な歩行空間の確保、都市防災機能の強化など様々な効果がある。また、東日本大震災後は、さらなる都市防災機能の強化が求められている。								
	効率性	3	低コストな構造の採用や、電線管理者の既存占用物件を活用するなど、事業費の縮減に努めており、大きな変化はない。								
	手段の適切性	3	電線管理者の既存占用物件を活用するなど、現場条件にあわせた事業手法を採用しており、おおむね適切である。								
	目的達成度	3	調査・設計から電線共同溝の建設、電柱の撤去まで、多岐にわたるため、事業効果の発現には多くの時間を要する。27年度は、事業目的に向け本体工事、引込・連系管工事等を実施しており、目的はおおむね達成された。								
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)							評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
モデル路線の一部区間で無電柱化が完了した段階であるが、電線類の地中化は、良好な都市景観の創出、安全で快適な歩行空間の確保、都市防災機能の強化など、様々な効果があることから、今後も事業を維持していく必要がある。								維持			